

1面からのつづき

### 兵庫県支部

#### 平成二十八年度秋季善行表彰支部主催伝達式と祝賀会開催

兵庫県支部は、平成二十八年度秋季善行表彰の支部主催の表彰伝達式と祝賀会を十二月十八日(日)に例年会場として、神戸市内の湊川神社の参集殿にて開催しました。

当日は表彰者その他の行事と重なり欠席者も多く来賓二名・表彰者十七名と支部会員三十二名の計五十一名の出席で開催しました。

伝達式では表彰者一人一人に支部長が表彰状を読み上げ表彰盾と共に手渡しました。そして、来賓の兵庫県



青少年補導センター協議会長久保英志氏と末松参議院議員の代理出席の秘書からの祝辞が述べられ、厳粛裡に表彰状の伝達が行われ、続いて祝電披露が行われ、表彰者・来賓支部幹部役員で記念写真を撮影後第二部の祝賀会に移りました。

#### 香川県支部 秋季善行表彰伝達式・皇太子殿下ご接見報告会並びに懇親会の開催について

香川県支部の平成二十八年度秋季善行表彰伝達式を会員二十七名の出席の下に、十二月十九日(月)午後四時から宇多津町ホテルサンルート瀬戸大橋で開催しました。

表彰伝達式は、大浦文男事務局長の司会で、北慎一副支部長の開会の言葉に続き、西村一夫秀天支部長から受賞者八名に表彰状、善行章が手渡された後、皇太子殿下ご接見時の状況を宮本隆義大浦文男両氏から報告していただきました。

その後、西村支部長が各受賞者へのお祝いの言葉、ご来賓の加藤悟史坂



出副市長、有福哲二香川県議会議員よりご祝辞を賜りました。その後、丸野忠義副支部長の開会の言葉で閉会し、そして記念写真を撮影しました。引き続き、懇親会を行いました。西村支部長の挨拶、加藤副市長の挨拶の後、吉本義弘副支部長の乾杯の音頭で祝宴に移り、和やかな雰囲気の中で各受賞者より受賞の喜びと現在の活動状況報告、カラオケなどで歓談されました。最後に宮本隆義理事より香川県支部の発展を期しつつ散会しました。

### 愛知県豊橋支部

#### 秋季善行表彰祝賀会の開催

日本善行会豊橋支部は平成二十八年度十二月二十四日、豊橋市新栄町の高千穂会館で、秋季善行表彰の受賞祝賀会を開催。佐原光一市長ら来賓も訪れ、長寿善行者二人と受賞者四人を祝った。



#### 二〇一七年 東京ブロック新年会

二月四日渋谷区初台「京王新線初台駅」直結の二四五mの超高層ビル五階、中国料理店「東天紅オペラシティ」において三三名の会員が参加しての新年会を開催。

東京副ブロック長栗原忍氏の司会により石毛利雄東京ブロック長の開会挨拶に続きご来賓相澤克也副会長のご祝辞を頂戴し、次いで東京ブロックを代表し高田修副会長のご挨拶、山下純雲子常務理事の乾杯のご発声で和やかな宴が始まりました。

### ふる里自慢

#### 宮崎県延岡支部

宮崎県の北部に位置する延岡市は、五ヶ瀬川、大瀬川をはじめとする五ヶ瀬川水系の川が流れ、昔から「水郷延岡」として知られており、秋になると架設される「鮎やな」が秋の風物詩となつています。延岡の鮎やなは、三百年以上の伝統を誇り、川原で鮎を焼く風景は環境省が選定する「日本かおり風景百選」にも選ばれ、延岡市民の心の原風景とも言えます。さて、皆さんにも馴染みの深い魚である鮎ですが、延岡では江戸時代より地域の特産物として贈答品に用いられていました。



八百年前には、宇佐神宮にも奉納された記録が残っています。随筆家の佐藤垢石は「延岡の鮎は



味、香り、姿まで日本一」とコメントし、絶賛していました。鮎やなとは、秋になると産卵する鮎の習性を利用して、竹で作った落テ簀(おてす)に誘い込む伝統的な漁法です。やな漁自体は、全国でも散見できますが、川幅が百メートルを超える箇所には架設される壮大なスケールや、地元の工場の煙突が見えるほどの都市部に架設される点においては、他に類を見ません。一度来てみて下さい。きつとご満足いただけるものと思っております。なお、鮎やなの営業期間は十月一日(土)～十二月四日(日)までです。

#### 善行川柳

選者 東 逸平

- 大ニュース 喜怒哀楽で 年暮れる 北海道 齊藤 勉
- 評/トランプ大統領の悪ふざけはいつまで続くのかな? 人類愛のない場所からは川柳は生まれませぬね。
- 平成の 二十九年度は 福の年 群馬県 横江 勇
- 評/どうせなら「平成の 二十九年度も 福の年」としてはどうでしょうか。
- 行く先に 私を待つてる 人がいる 静岡県 真野 和代
- 評/いつもながら奥ゆかしく良いですね。わくわくする気持ちに風が悪戯つぽくまわりついてきます。
- デイケアー 今朝早々の 薄化粧 香川県 丸野 忠義
- 評/デイケアーと延ばさないでデイケアのこしませしよう。施設でなにか楽しい催しがあるのかな? 今朝早々の薄化粧のことは良いですね。熟練の筆致が感じられます。

※紙面の都合上一部割愛させていただきます。御了承下さい。

#### 平成二十八年度 特別賛助寄付金

- (五月) 笠原作樂 様 (一金五万円)
- (十月) 千葉県支部 名流会(藤乃千代寿)様 (一金八万円)
- 新舞踊チャリティ名流会に協力頂いている方々の御寄附を本会に寄贈 (十二月)
- 群馬県前橋支部 (一金五万円) チャリティイーゴルフコンペを開催し、その協賛頂いた益金を本会に寄贈
- \*その他匿名の篤志家からは高額の寄附をはじめ、多くの方々から沢山のご寄附をいただいております。

### 岩手県宮古支部

#### 平成二十八年度秋季善行表彰伝達式の開催

岩手県宮古支部の平成二十八年度秋季善行表彰伝達式は、十二月三日宮古ホテル沢田屋で開催された。

はじめに、叙勲に浴した山田皓一様と褒章として長寿善行者としてご接見の栄に賜った清水誠勝様の紹介と花束の贈呈があり、続いて二団体二個人へ賞状と善行章が伝達された。

支部長からは、「台風十号の豪雨で被災した市内で、大人と一緒に中高生がボランティア活動を行っていた光景を目に

し、そこからは、自分たち出来ることで人のために頑張りたいという気持ちで伝わってきた。まさに善行会が目指す善行の原点を見た思いがした。」との挨拶があった。

その後、宮古市長のメッセージが披露され、宮古市社会福祉協議会会長の祝辞が述べられた。引き続き祝電の披露があり、受賞者代表で中村儀雄様の謝辞で伝達式を終了した。

祝賀会では清水誠勝様よりご接見について報告があり、佐藤昇様の乾杯の発声で祝宴が始まった。その中で受賞者の楽しい一口インタビューが行われた。

山田皓一様からは、「三十九年間、民生児童委員を務めてきた。現在、

民生委員の成り手が無いのが悩んだ。」との話。包丁研磨の奉仕活動等の宮古建設組合様からは、「包丁磨きを二十二年間続けているが、この活動を長く続けて生きてい。」と自信を示す。

郷土芸能保存会を統合し伝承活動を行っている中村儀雄様からは、「高齢化や過疎化で伝承人口が減少し保存会の活動が危ぶまれる状況だ。何とか残していきたい。」との話に切実な思いが伝わる。

読書活動を続けて十年間の田老かもめおはなし会様からは、「過疎地域での読み聞かせ活動に力を入れていく。老人ホームには時代劇の紙芝居を持って訪問している。」との心暖まる話があった。

三十年間少年野球の監